

賃上げで景気の底支えを！「休み方」「働き方」改革で長時間労働を撲滅！



2015 春季生活闘争ニュース

2015. 3. 17

3号

編集：連合北海道組織労働局

2015 春季生活闘争 先行組合 頑張れ！

連合北海道は、3月16日(月)12:00～12:40 札幌市中央区パルコ前にて、春闘ヤマ場前の街頭宣伝行動を行い、月例賃金引き上げと景気の回復を訴えた。

連合北海道 工藤会長から「2015 春季生活闘争は、10年以上にわたるデフレから脱却し、経済の好循環に移行できるか、それとも賃金が停滞し物価だけが上がる悪いインフレの下、格差が一層広がっていくのか、まさに、時代の分水嶺となる重要な闘いである。多くの働く者の月例賃金が改善しなければ、GDPの6割を占める個人消費を動かすことは出来ず、デフレ脱却は困難である。すべての組合が月例賃金にこだわり、要求の実現に全力を挙げていることにご理解をいただき、運動への協力をお願いしたい。」との挨拶があった。



連合北海道 工藤会長

続いて中央区選出の小林郁子道議会議員より労働者保護ルールの改悪について、「労働者派遣法の改悪がなされようとしている。企業の同じ部署における派遣労働者の受け入れ期間を最長3年とし、労働者を入れ替えるか部署を移動すれば、何年でも受け入れることができるようになる。これでは、派遣は一時的臨時的雇用のはずが、一生涯派遣で低賃金となってしまふ」と改悪に反対していることを訴えた。

連合北海道は、3月18日のヤマ場(集中回答指定日)に向けて、16日(水)8:00～8:30 札幌駅南口、18日(金)8:00～8:30 地下鉄麻生駅でも同様に街頭宣伝行動を実施する。

同様に、今週は全道13地協所在地においても街頭宣伝行動を実施し、道民世論の喚起を促す予定である。



中央区 小林 郁子 道議会議員



テレビ取材も来ました



お揃いの連合ジャンパーを着用して、道行くドライバーにもアピール！